

令和3年10月29日

萩市長 田中 文夫 様

萩市議会議長 横山 秀二

### 緊急提言書

昨年発生した新型コロナウイルス感染症は、現在も国内はもとより世界中で猛威を振っています。その影響は、全国各地で経済をはじめとした、様々な国民生活環境の低迷に繋がっています。

政府、山口県及び萩市においては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止や生活支援など、様々な対策を展開されているところですが、未だに先行きが不安な状況です。

また、感染拡大防止に効果があると言われるワクチン接種は、順調に進んでいるものの、ブレイクスルー感染という現象も生じており、第5波が収まってきた今こそ、医療体制などの抜本的な見直しを行う必要があります。

このような状況から、今後も引き続き出来る限りの施策を展開しなければならないところであり、市長会からの国への要望も含め迅速に対応を願うものであります。

一方、萩市議会としても、昨年度12月支給の賞与をカットし、コロナ支援対策として市民の皆様の一助となるよう使用していただいたところです。今年も同様な取り組みについて、議員間で協議を行う予定です。

さて、萩市の新型コロナウイルス感染症対策を含む、喫緊の諸課題について、全議員からの要望をとりまとめた提言書を提出いたしますので、本年度補正予算及び、次年度当初予算での対応を強く求めるものです。

早急に、各種提言のご回答をよろしくお願いいたします。

## 萩市長に対する提言

### 1. 新型コロナウイルス感染症対策に対する提言・その1(ワクチンに関する事項)

- (1) 持病などによりワクチン接種ができない市民や、マスクがつけられない市民もいることから、バッジやワッペンなどを作成し、配布・周知するなど差別を招かない施策を実施すること。
- (2) 新型コロナウイルス感染症ワクチン接種を自宅で接種できる訪問接種を実施すること。
- (3) 小中学校での新型コロナウイルス感染症への集中検査及び、12歳未満のワクチン接種を関係者と協議し検討すること。(検討結果の速やかな実施)
- (4) コロナワクチン接種希望者の接種が終了することから、萩市独自の無料PCR検査も期限付きで実施されることになってはいますが、状況に応じた期間延長など、いつでも、誰でも回数制限のない無料PCR検査の拡充を行うこと。
- (5) 市民館、公共施設の客席等について、スプレー塗布による抗菌・抗ウイルス加工が可能との事例もあることから、必要な予算の確保及び早期実施をすること。(例：スターピアくだまつ：指定管理者制度施設、運営持続化事業補助金)

### 2. 新型コロナウイルス感染症対策に対する提言・その2(人権・経済支援に関する事項)

- (1) 感染者への誹謗中傷や差別、偏見の禁止の更なる徹底を実施すること。(条例制定の必要性も考慮すること。)
- (2) ワクチン接種証明書若しくは陰性証明書を活用した経済活動(with コロナ)を実施すること。
- (3) 市内でも飲食店によるクラスターが発生したことから、新型コロナウイルス感染症対策が実行されているか飲食店組合をはじめ萩市も主体的に現地確認を実施し、市民の不安を解消することに努めるとともに、新型コロナウイルス感染症について、事業者への更なる丁寧な実態調査を実施すること。
- (4) 萩観光のオフ期(1月～3月)での「萩にゃん。クーポン券」配布を実施すること。
- (5) イベントを中止した場合の代替え案の提示と販路拡大に向けた支援体制を構築すること。
- (6) コロナ禍の中で、飲食店に納入する業者への支援が行き届いていない。また、現在実施している施策では全く十分ではない。このような現況にあることを認識し、現在の国・県・市の支援策が行き届いていない業種や業者への支援として納入業者への支援策を早急に行うこと。
- (7) 持続化給付金の再度の支給について国に要請すること。

### 3. 新型コロナウイルス感染症対策に対する提言・その3(現場主義に関する事項)

- (1) 小中学校の臨時休校時に学校給食機能(配布や宅配を含めて感染防止対策をとったうえでの対応)を検討すること。

- (2) 国の補正予算による臨時交付金などの対応策を見据えながら、市としても時期を逃さず、機動的に市民への支援と繋がるように情報収集などしっかり行うこと。(国の臨時交付金の活用を最重要視すること。)
- (3) 公共施設の使用禁止について、その基準が曖昧で利用者が混乱や不安を招いているので、しっかりとした基準を定め周知すること。(大会と練習などの公共施設の使用基準)
- (4) 事業所(飲食業などの店舗)を閉業(店舗の廃業)した場合の「見舞金」の支給及び再開への「激励金」の支給を実施すること。
- (5) コロナ禍において小中学校での早急なオンライン授業ができるよう整備すること。
- (6) 緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が解除され、県外から多くの観光客等が来萩されると予測されることから、萩市として十分な感染症拡大防止対策となるように磐石な体制を構築されること。

#### 4. 教育施策への提言

- (1) ヤングケアラー対策について、早急に関係者と協議し、萩市としての支援策を構築すること。
- (2) 幼保教育費の無償化
- (3) 少子化対策の充実について、不妊治療に係る治療費助成(30万円)や子供一人に対し最大6回まで支援するなどの回数拡充及び所得制限の撤廃を要望されたい。

#### 5. 農作物への提言

- (1) 8月の長雨以降の農作物被害調査を実施し、支援策を講じること。

#### 6. 県道への提言

- (1) 県道萩篠生線の迂回路脆弱性から道路計画の見直しを県に要望すること。
- (2) 県道萩川上線の道路改良の早期完了を要望すること。

#### 7. 人口定住への提言

- (1) 若者世代に対する家賃・賃貸料の軽減策の実施など、人口定住策の抜本的な対策を実施すること。

#### 8. 中核病院への提言

- (1) 萩市民の安心・安全を守るために欠かすことができない中核病院の形成について中核病院協議会の結論が出た後は、議論が停滞することがないように、最大限のスピード感をもって取り組むこと。